



つたのはたたりがあつたからだ。もし、今年十一才になる男の子を山の天狗にいけにえとしてささげれば、湯はもとのようにコンコンとわきでるだろう。」と、この山に住む天狗のお告げがあつたという、うわさがたちはじめました。

十一才になる男の子、それはこの山奥にたつた一人しかいません。それは、あの心のやさしい母親につれられた、かわいい男の子だけです。このうわさは、母親をすっかりふるえあがらせてしまいました。「そんなばかなことが!!。でも、もし本当のことだとしたら、どんなことがあつても決してこの子をはなしはしない。」と、不安と恐ろしさにおちおち眠れず、何も知らずぐつぐつと眠っているわが子の身体を、しっかりとだきしめました。

しかし、その恐ろしいことが、ついに本当になつてしまいました。よく朝になつて、